



10周年に向けて

本校は開校から10周年を迎えます。そこで、今回から10周年に向けての先生方の思いを掲載します。今回は開校1年目から本校で勤務する先生方にお話しを伺いました。

小学部 橋本 美緒 先生



着任して最も印象的だったことは、学校にポニーがいたことです。「本当にポニーがいる」と先生方みんなが驚いていました。最初はじゃじゃ馬で、引馬中に教員を引き摺ったり、校庭に脱走して学級園の野菜を食べ散らかしてしまったり……。飼育をどうするか、教育活動にどう活かすかを教員みんなで考えました。有志による飼育から、職員全員による飼育になり、授業でも少しずつ活用できるようになりました。ふれあいパークに着くと、すぐにメロンにかけ寄っていく子どもや、どきどきしながらもメロンにえさをあげたり、引馬をしたりする子どももいます。たくさんの子もたちを笑顔にするメロンは、まさしく、はばたきのアイドルです。これからも長生きしてね。

中学部 蛭田 敦子 先生



中学部十年目の私は、「思い」というより思い出話を一つ紹介します。それは、初年度に行った佐渡ヶ島への修学旅行です。熊谷駅集合し、上越新幹線に乗り、新潟港からジェットホイールに乗り、島内はバスで巡りました。本物の金塊に生徒と触ったことや、砂金採り、鬼太鼓で地元の方と交流したこと。眠れない子らと過ごした夜のこと、今でも鮮明に思い出することができます。その時にいただいたわらじが今も事務室前の壁の片隅に飾られています。それを知るのは、もしかして私だけになってしまったかもしれません。

高等部 大澤 美佐 先生



東日本大震災のあと着任してから、校内のひび割れの点検をしたことを思い出します。教員も生徒もほとんどみんなが「初めまして」の状態、何もない状態からのスタートで、「何をしたら？どうしたら？」と、戸惑いも多くありましたが、「みんなではばたきをつくろう！」という気持ちにあふれていました。今ある行事もみんなで意見を出し合い、0から創ってきました。「メロンフェスティバル」という文化祭のネーミングも、当時の高等部2年生から出されたものでした。「やるぞ！」と決めたら、みんなが一つになって力を合わせるのが「はばたきらしさ」なんだと思います。10年を迎えてこれからも、「はばたきらしさ」を忘れずに頑張っていきたいと思います。

◎各学部の様子

小学部



中学部



高等部



お知らせ

12月11日(金)に10周年記念式典の実施を予定しています。合わせて、10周年記念ソング、10周年記念リーフレットの制作も進行中です。